

令和6年4月1日

**福島大学と福島国際研究教育機構との委託研究事業  
「原子力災害に関するデータや知見の集積・発信  
(放射性物質の魚類への取込・排出メカニズム)」**

福島大学を代表とするコンソーシアムが申請した事業が、福島国際研究教育機構（F-REI）公募事業に採択され、3月28日付で委託契約を締結しました。

令和5年度「原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究」において、「原子力災害に関するデータや知見の集積・発信（放射性物質の魚類への取込・排出メカニズム）」事業に取り組みます。

**事業名：原子力災害に関するデータや知見の集積・発信（放射性物質の魚類への取込・排出メカニズム）**

研究分野：第5分野（原子力災害に関するデータや知見の集積・発信）

実施体制：原子力災害に関するデータや知見の集積・発信（放射性物質の魚類への取込・排出メカニズム）コンソーシアム

（代表機関：福島大学 研究代表者：環境放射能研究所 教授 和田敏裕

参画機関：京都大学）

事業内容：水産物中の放射性物質については、散発的に基準値を超える魚類についての報告事例もあるものの、水産物の放射性物質調査において、基準値（100Bq/kg）を超える割合は事故からの時間の経過とともに低下する傾向がある。本事業では、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信の一環として、放射性物質の魚類（海水魚及び淡水魚）への取込・排出メカニズムを多面的なアプローチにより解明することにより、水産物の安全性の評価などに必要となる科学的な知見を整理する。

事業予定期間：令和5年度～令和11年度

（ただし、実施期間中の各種評価等により変更があり得る）

（お問い合わせ先）

◆事業内容について

環境放射能研究所 教授 和田 敏裕

電話：024-503-2967

メール：t-wada@ipc.fukushima-u.ac.jp

◆本委託契約について

研究・地域連携課 鈴木

電話：024-548-5248 メール：chizai@adb.fukushima-u.ac.jp